

環境経営レポート

2022.10-2023.9



発行日 令和5年12月28日

こづか株式会社

環境管理責任者 新藤 磨沙人

045-929-1931

有限会社大興資源

環境管理責任者 新藤 磨沙人

045-929-4811

作成 環境管理担当者 新藤 磨沙人

目 次

1.こづかグループ(こづか株式会社・有限会社大興資源)のご紹介	1
2.エコアクション21取り組みの対象活動	2
3-1.事業概要 こづか株式会社	3
3-2.事業概要 有限会社大興資源	4
4.こづかグループ 廃棄物・資源物処理フロー	6
5.環境経営理念・環境経営方針	7
6-1.環境組織図 こづか株式会社	8
6-2.環境組織図 有限会社大興資源	9
7-1.こづかグループ 環境経営目標	10
7-2.こづかグループ 環境経営計画	11
8-1.部門別環境経営目標	12
8-2.EA21事務局の内部監査	13
9-1.環境経営目標の実績 こづか株式会社	14
9-2.環境経営目標の実績 有限会社大興資源	15
10.環境経営計画・取組およびその評価	16
11.環境経営目標に対する取組の評価	17
12-1.教育・訓練の計画および実施 こづか株式会社	18
12-2.教育・訓練の計画および実施 有限会社大興資源	19
13.環境コミュニケーション	20
14-1.環境関連法規のとりまとめと遵守評価	21
14-2.環境関連法規遵守と訴訟・苦情等有無の来歴	22
15-1.代表者による全体の評価と見直し こづか株式会社	23
15-2.代表者による全体の評価と見直し 有限会社大興資源	24

1. ～こづかグループ(こづか株式会社・有限会社大興資源)のご紹介～

経営理念

市民と企業のエコ活動に協力して、持続可能な循環型社会を目指す。

社内全体で相互に理解し合い、全従業員の幸福を追求する。

こづかグループ サービスのご案内「資源を活かす」

- 製紙原料の買入・販売
- 資源集団回収の推進
- 一般廃棄物収集
- 産業廃棄物収集
- 産業廃棄物中間処理
- 古紙ステーションの設置
- 古布のリサイクル
- 機密文書のリサイクル
- プラスチックリサイクル
- 出張リサイクル講師

廃プラスチック類（発泡スチロール含）処分承ります。

お見積り無料!! お気軽にお問い合わせください。

こづか株式会社ホームページ

古紙の搬入お持ち込みご案内

古紙をまとめて処分したいときはどうぞ、こづか株式会社までお持ち込み下さい。
搬入前はお近くの事業所までお気軽にご連絡ください。
こづか株式会社は、古紙だけでなく、古布・金属・再生用プラスチックも扱っております。古布は、業界有数の実績もあり、少量の方、一般の方はお申し込み不要のKODUKAマテリアルセンターが便利です。

サービス一覧

- 古紙の搬入
- 機密古紙の搬入
- 古紙ステーション

少量の方はご予約不要の古紙のステーション「KODUKAマテリアルセンター」

KODUKAマテリアルセンター
古紙ステーション

事業者登録はこちら

<http://www.koduka.co.jp>

有限会社大興資源ホームページ

有限会社 大興資源 ホーム 会社概要 サービス一覧 資源回収 採用情報 CSR活動 お問い合わせ

安心安全のプライバシーマーク取得業者

法人、事業者様向けサービス Office Shop Manufacture

- 一般廃棄物
- 産業廃棄物
- 機密古紙
- 段ボール オフィス古紙

収集依頼 見積り依頼 当社指定袋・箱注文 ご契約者様登録

ご契約者様は「ご契約者様登録」ページより是非メールアドレスをご登録ください。年末年始の収集予定などのご連絡に活用させていただきます。

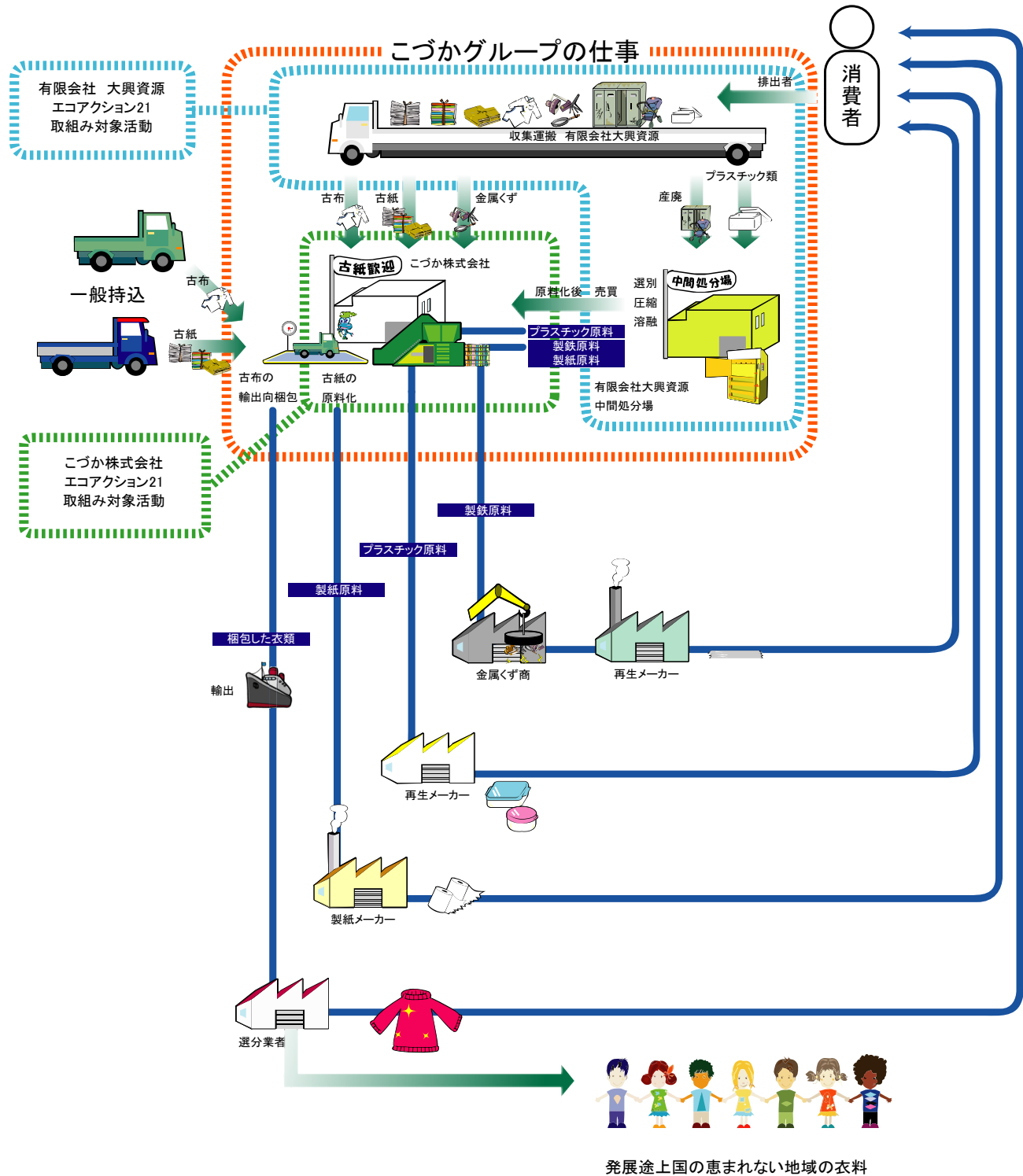
一般向けサービス・資源集団回収 Ordinary household

<http://www.taiko-shigen.co.jp>

2. エコアクション21 取り組みの対象活動

◆ こづかグループ(こづか株式会社・有限会社大興資源)コンセプト図

※認証対象範囲：こづか株式会社・有限会社大興資源ともに全組織・全活動



3-1. 事業概要 こづか株式会社

会社名	こづか 株式会社		法人設立	平成4年4月
代表者名	代表取締役 小塚 豪		資本金	1,000万円
事業内容	再生資源及び紙製品の売買、計量証明事業 ※古紙の買取料金については電話又はメールでお問合わせください			
売上高	80 千万円(2022年度)			
従業員数	46 人			
事業年度	10月1日～9月30日			
会社所在地	本社	横浜市都筑区川和町247番地 TEL 045-929-1931	2725㎡	
	横浜北事業所	横浜市都筑区東方町895番地	1399㎡	
	富士営業所	静岡県富士市富士岡483-5 TEL 0545-34-0440	1164㎡	
	清水事業所	静岡市清水区谷津町1丁目333-1 TEL 0543-69-5988	1000㎡	
保有車両	フォークリフト	15 台		
	計量機 台貫	4 台		
	ベラー	4 台		
			合計	23 台

設備の処理能力

機械 名称	設置場所	能力	備考
渡辺鉄工 ベラー1号機	横浜北	120t/8h	
渡辺鉄工 ベラー1号機	本社	120t/8h	
渡辺鉄工 ベラー1号機	清水	120t/8h	
ホーライ 改 ベラー1号機	富士	32t/8h	

取得認証一覧

名称	認証機関	認証・登録番号	取得/登録年月日	更新年月日	有効年月日
エコアクション21	一般財団法人 持続性推進機構 (IPSuS)	0002287	2008.3.14	2022.3.14	2024.3.13

3-2. 事業概要 有限会社大興資源

会社名	有限会社 大興資源		法人設立	昭和58年6月		
代表者名	代表取締役 猪又富美男		資本金	1,000万円		
事業内容	再生資源回収、一般廃棄物及び産業廃棄物の収集・運搬、産業廃棄物中間処分					
売上高	92 千万円 (2022年度)					
従業員数	89 人					
事業年度	10月1日～9月30日					
会社所在地	本社	横浜市都筑区川和町255番地4		2725 m ²		
		TEL 045-929-4811				
	横浜北営業所	横浜市都筑区東方町895番地		1399 m ²		
	富士営業所	静岡県富士市富士岡483-5		1164 m ²		
		TEL 0545-34-0440				
	静岡営業所	静岡市清水区谷津町1丁目328-4		1000 m ²		
		TEL 0543-69-5996				
	川崎営業所	川崎市高津区久末2085-3-101				
	TEL 044-750-7161					
厚木営業所	神奈川県厚木市旭町3-18-9-305					
	TEL 046-404-2172					
渋谷支店	東京都渋谷区円山町6-7					
	03-5428-8609					
積替・保管施設	横浜市都筑区川和町255番地4の一部 外2筆		465.41 m ²			
	TEL 045-929-4811					
	積換え又は保管を行う産業廃棄物の種類					
	廃プラスチック類(水銀使用製品産業廃棄物を含む)、紙くず、木くず、					
	金属くず(水銀使用製品産業廃棄物を含む)					
	ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず(水銀使用製品産業廃棄物を含む)					
	保管上限	4.99m ³	産業廃棄物保管面積	6.67m ²		
保有車両	2トンパッカー	23 台	1トン平ボディ	2 台	軽トラック・軽バン	1 台
	3トンパッカー	7 台	2トン平ボディ	7 台	乗用車	9 台
	3.5トンパッカー	2 台	3トン平ボディ	3 台	中型アーム	0 台
	4トンパッカー	0 台	3.5トン平ボディ	0 台	中型パッカー	0 台
	4トンアームロール	4 台	4トン平ボディ	0 台	合計	62 台
	6トンアームロール	1 台	2トンリンボーバン	1 台		
	6トンパッカー	2 台				
処分場の処理能力	4.24t/1時間					

3-2. 取得事業許可一覧

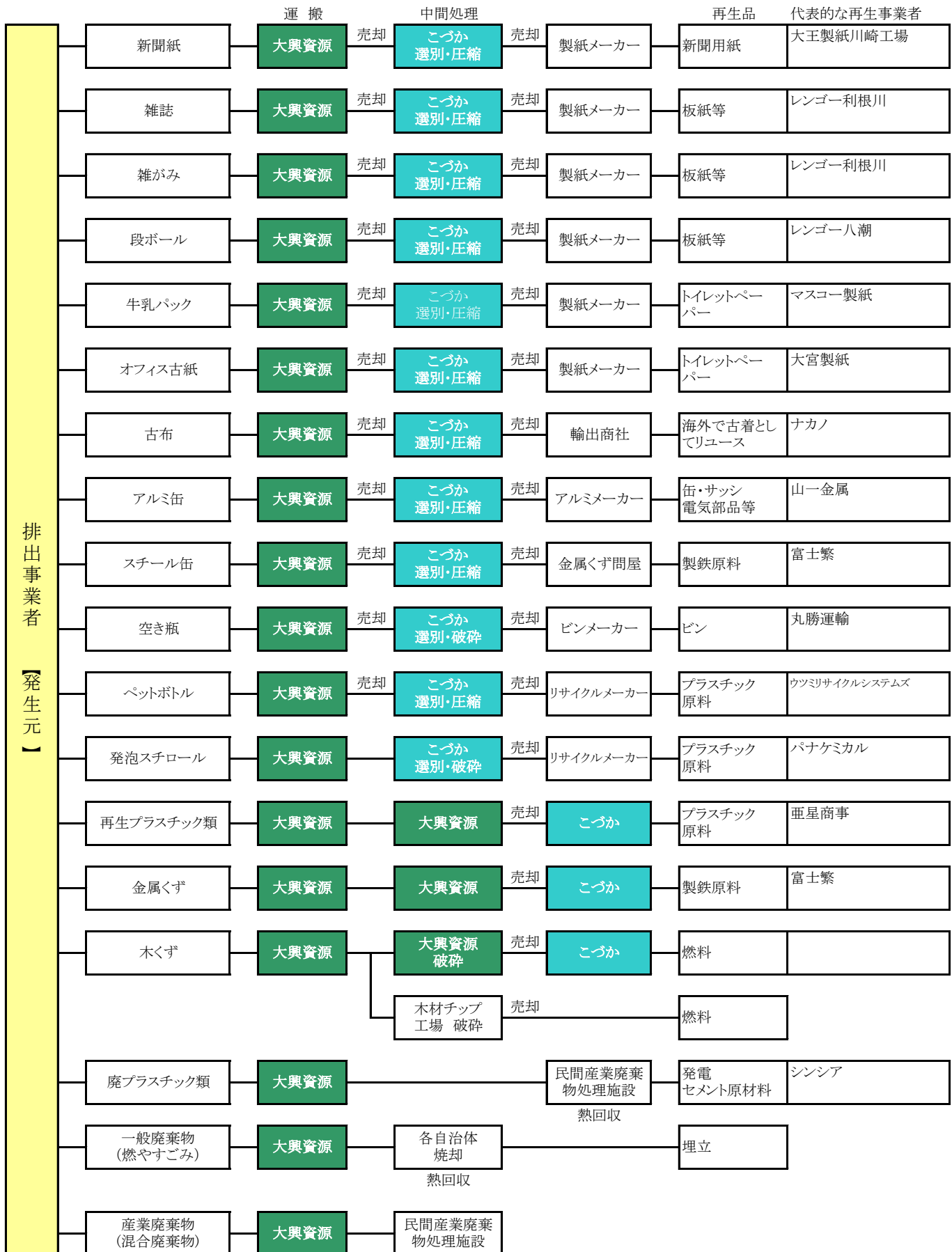
一般廃棄物収集運搬				
地域	許可No	許可年月日	許可期限	備考
横浜市	1105	H9.4.1	R6.3.31	更新手続き中
川崎市	0066	H12.10.1	R6.9.30	
東京都 23区内1部	1355	H15.6.1	R7.5.31	渋谷区・目黒区・世田谷区
厚木市	219→177	H18.4.1	R6.3.31	更新手続き中

産業廃棄物収集運搬				
地域	許可No	許可年月日	許可期限	品目
東京都	013-00-001023	H8.4.26	R8.4.25	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類
神奈川県	014-02-001023	H4.3.23	R9.3.22	廃プラスチック類・木くず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類
静岡県	022-01-001023	H4.12.17	R9.12.16	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類
埼玉県	011-00-001023	H24.7.13	R9.7.12	汚泥・廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず・動植物性残さ・ゴムくず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く。)及び陶磁器くず・がれき類
山梨県	019-00-001023	H23.9.5	R8.9.4	汚泥・廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず・動植物性残さ・ゴムくず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く。)及び陶磁器くず・がれき類
千葉県	012-00-001023	H23.10.28	R8.10.27	汚泥・廃プラスチック類・紙くず・木くず・動植物性残さ・ゴムくず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類
茨城県	008-01-001023	H28.9.7	R8.9.6	汚泥・廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず・動植物性残さ・ゴムくず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類
群馬県	010-00-001023	H28.7.19	R8.7.18	汚泥・廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず・動植物性残さ・ゴムくず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類
栃木県	009-00-001023	H28.8.25	R8.8.24	汚泥・廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず・動植物性残さ・ゴムくず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類

産業廃棄物中間処分				
地域	許可No	許可年月日	許可期限	品目
静岡県	022-2200-1023	H19.6.21	R9.6.20	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・木くず

取得認証一覧					
名称	認証機関	認証・登録番号	取得/登録年月日	更新年月日	有効年月日
エコアクション21	一般財団法人 持続性推進機構 (IPSuS)	0001907	2007/10/2	2023/10/2	2025/10/1
プライバシーマーク	一般財団法人 日本情報経済社会推進協会 (JIPDEC)	10870038(08)	2009/3/12	2023/3/10	2025/3/11

4. こづかグループ 廃棄物・資源物処理フロー



こづか株式会社
代表取締役 小塚 豪

有限会社大興資源
代表取締役 猪又 富美男

環境経営理念



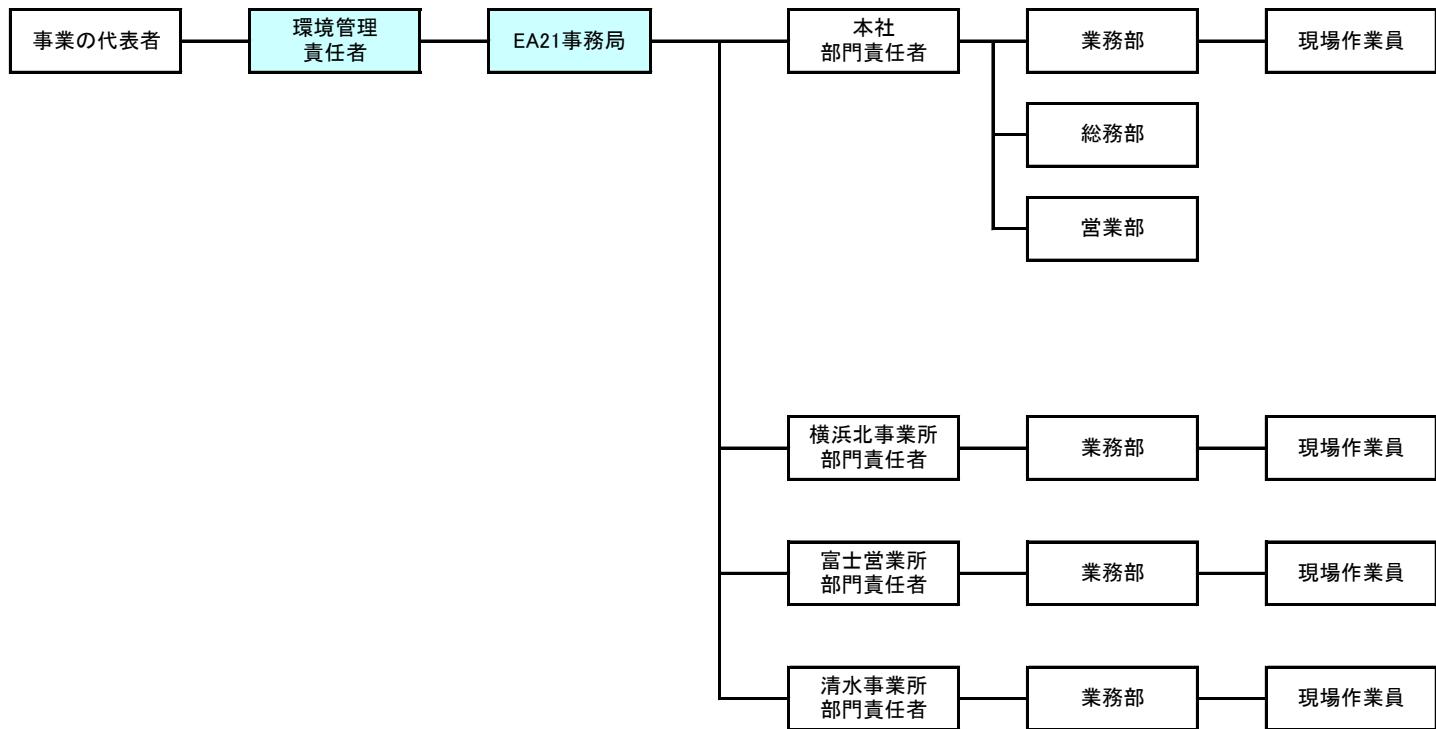
- ①全ての従業員が幸福な未来を実現するため、エコライフを実践します。
- ②市民や企業のエネルギー節約に協力し、率先して省エネ行動をします。
- ③持続可能な循環型社会構築のため、リサイクルを推進するとともに、環境経営の継続的改善を推進します。

【こづかグループ 環境経営方針】



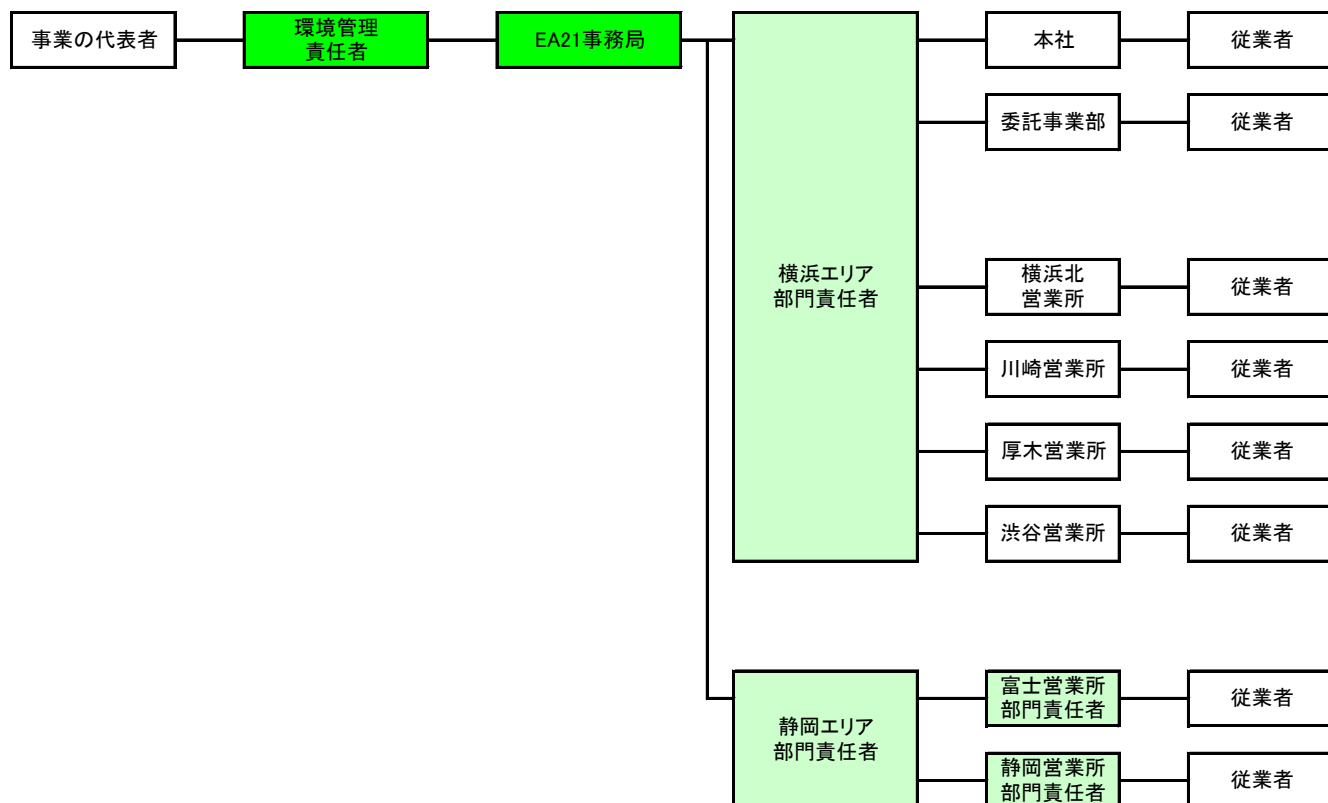
- 1、廃棄物再生利用の可能性を追求し、すべての従業員がその情報を共有するように努めます。
- 2、すべての事業所・営業所において、CO₂削減、節水、省資源に努めます。
- 3、ペーパーレス化・雨水利用などで、環境への負荷低減を目指します。
- 4、廃棄物と再生資源の事業に関する法律を遵守します。
- 5、持続可能な循環型社会構築を目指して啓発と教育活動を行います。
- 6、本方針を公開し、朝礼、会議、ホームページで周知し、全従業員が、環境に配慮した行動をするよう努めます。

6-1. 環境組織図 こづか株式会社



各責任者の役割	環境対策に関する責任と権限	環境活動に関する主な業務内容
事業の代表者	全社の環境経営システムの総責任者	<ul style="list-style-type: none"> ■ 経営の課題とチャンスの明確化 ■ 環境経営方針を承認する ■ 環境管理責任者の任命 ■ 全体の取組状況の評価と見直し ■ 資源の用意
環境管理責任者	経営者に代わり、システム運用の総責任者としての役割・権限を他の責任にかかわらず持つシステム実績を事業の代表者に報告	<ul style="list-style-type: none"> ■ システム運用の維持管理 ■ マネージメントレビュー、エコアクション事務局会議等招集 ■ 是正処置・予防処置の推進維持
エコアクション21事務局	環境管理責任者の補佐 環境コミュニケーション窓口 内部監査の実施	<ul style="list-style-type: none"> ■ 教育・訓練計画の立案、実施 ■ 環境経営計画通りの運用の実施と確認 ■ 取扱数量の把握と半期ごとの集計 ※(出庫数量、代納含まず) ■ 環境への負荷の自己チェック ■ システム実績を環境管理責任者へ報告→事業の代表者へ ■ 内部監査の実施
部門責任者	部門システム運用責任者	<ul style="list-style-type: none"> ■ 環境経営方針、環境経営目標、部門目標の周知(掲示)
従業員	環境活動の実施者	<ul style="list-style-type: none"> ■ 部門責任者の指示等に従い環境活動を実施する

6-2. 環境組織図 有限会社大興資源



各責任者の役割	環境対策に関する責任と権限	環境活動に関する主な業務内容
事業の代表者	全社の環境経営システムの総責任者	<ul style="list-style-type: none"> ■ 経営の課題とチャンス の明確化 ■ 環境経営方針を承認する ■ 環境管理責任者の任命 ■ 全体の取組状況の評価と見直し ■ 資源の用意
環境管理責任者	経営者に代わり、システム運用の総責任者としての役割・権限を他の責任にかかわらず持つシステム実績を事業の代表者に報告	<ul style="list-style-type: none"> ■ システム運用の維持管理 ■ マネージメントレビュー、エコアクション事務局会議等招集 ■ 是正処置・予防処置の推進維持
エコアクション21事務局	環境管理責任者の補佐 環境コミュニケーション窓口 内部監査の実施	<ul style="list-style-type: none"> ■ 教育・訓練計画の立案、実施 ■ 環境経営計画通りの運用の実施と確認 ■ 取扱数量の把握と半期ごとの集計 ※(ドライバー1人あたりの数量または燃料1Lあたりの走行) ■ 環境への負荷の自己チェック ■ システム実績を環境管理責任者へ報告→事業の代表者へ ■ 内部監査の実施
部門責任者	部門システム運用責任者	<ul style="list-style-type: none"> ■ 環境経営方針、環境経営目標、部門目標の周知(掲示) ■ 実施状況の確認と記録の収集
従業員	環境活動の実施者	<ul style="list-style-type: none"> ■ 部門責任者の指示等に従い環境活動を実施する

7-1. こづかグループ 環境経営目標

[目次IA1](#)

年度		2020年度実績（基準年）		2022		2023	
環境経営目標		こづか(株)	(有)大興資源	こづか(株)	(有)大興資源	こづか(株)	(有)大興資源
取扱量の増加(t)		30,213	28,123	+100	+100	+200	+200
CO2排出量の削減	購入電力 (kWh/t)	13.1	/	-2%	/	-3%	/
	CO2 (購入電力 (kg-CO2/t))	6.5	/	-2%	/	-3%	/
	化石燃料 (L/t)	/	14.9	/	-2%	/	-3%
	CO2 (化石燃料 (kg-CO2/t))	/	38.3	/	-2%	/	-3%
水使用量の削減(m3/t)		0.102	/	-2%	/	-3%	/
自社廃棄物の削減(t)		85.3		-2%		-3%	
プラスチック再資源化の推進		推進内容検討		事業化準備		事業開始	

1. CO2排出量（購入電力、化石燃料）、および水使用量は各事業体の取扱量原単位とする。廃棄物は絶対値とする。
2. 2020年度実績値を基準値とする。
3. 取扱量は2020年度実績に対し+100t/年、他は2021年度中期計画通りとするが、2022年度末に再度見直す。
4. 化学物質は使用していないので目標とはしない。
5. 自社廃棄物は事業系一般廃棄物を示す。
6. 購入電力のCO2排出係数：2019年度調整後排出係数（富士事業所のみ東京電力(株)：0.442、他は日本テクノ(株)：0.501)

7-2. こづかグループ 環境経営計画

2022年度(2022.10-2023.09) 環境経営計画

GR=グループ全体、KO=こづか株式会社、TA=有限会社大興資源

←実施予定期間

● 取扱量の増加

環境経営計画および取組内容	責任者	実施者	2022			2023								
			10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
営業会議・ドライバー会議の実施(GR)	総務部	営業社員												
ブランド力強化(イベント等への参加)(GR)	総務部	総務部												
収集ルートの見直し(TA)	業務部	業務部												
セールスドライバーの育成(TA)	営業・業務部	業務部												
ドライバー一人当たりの重量目標の達成(TA)	総務部	総務部												

● CO₂(電力、化石燃料)の削減

環境経営計画および取組内容	責任者	実施者	2022			2023								
			10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
◆ CO ₂ (電気使用量、化石燃料)の削減														
エコドライブ・車両管理(TA)	業務部	ドライバー・営業												
エアコン温度設定(GR)	部門責任者	全従業者												
作業効率化(GR)	業務部	全従業者												
スイッチ・エレベーターの適正管理(GR)	総務部	全従業者												

● 水使用量の削減

環境経営計画および取組内容	責任者	実施者	2022			2023								
			10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
◆ 水使用量の削減														
余分な開放がないかのチェック(GR)	EA21事務局	全従業者												
雨水の有効利用の検討(GR)	役員	役員												

● 自社廃棄物の削減

環境経営計画および取組内容	責任者	実施者	2022			2023								
			10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
スキャナー・両面印刷の励行(GR)	部門責任者	全従業者												
社内HPおよび社内メール利用による紙利用の削減(GR)	部門責任者	全従業者												
プロジェクターやモニターの活用	部門責任者	全従業者												

8. 部門別環境経営目標

◆ こづか株式会社

- 本社
 - 横浜北事業所
 - 富士営業所
 - 清水事業所
 - EA21事務局
- 部門は左記のとおりとし、
月次内部監査 ALL「A」を目指す

監査項目を14から10に変更、数値も10点満点基準とし、数値を簡略化することで継続的な評価がフィードバックしやすくなった。

監査項目の見直しは1年に1度とする。

現場監査が正確に行なわれるよう専任担当者が抜き打ちで各事業所を監査する。

こづかグループ内部監査年間評価結果/是正処置

作成 2023/10/10 新藤

No.	期間 2022.10~2023.9	内容	指示	スコア			
				本社	横浜北	清水	富士
1	あいさつ	お客様、地域の方、社内間でのあいさつ	常時	B+	B+	B+	B
2	プレス機メンテナンス	プレス機の清掃・整備など	毎日	B+	B	B	B
3	台貫清掃	台貫の内部	1週間に一度	B+	B	B	B+
4	場内外清掃	場内・工場周辺の清掃	常時	B+	B+	B+	B+
5	重機メンテナンス	重機の清掃・整備など	毎日	B+	B+	B+	B+
6	消火器の点検	配置場所、消費期限	訓練実施時(半年に一度)	B+	A	B+	B+
7	事故・物損	ぶつけた場所鉄ノカゴなど	常時	A	B	A	A
8	在庫の仕方	積み方、奥から高く、くずれないように積んでいるか	毎日	B+	B+	B+	A
9	エアコンの設定温度	設定温度は適切か(冬20°C・夏27°C)	毎日	A	A	A	B+
10	環境方針(目標)は把握してるか	最新版を掲示	常時	A	A	A	A

- 1.スコアは1年間の平均スコアとする
- 2.スコアがC以下の場合には是正処置を講ずる
- 3.スコアと点数の対応は以下の通り
100点:A、90-99点:B+、70-89点:B、69点以下:C

◆ 有限会社 大興資源

- 横浜エリア 1人1日あたり3500kg
- 静岡エリア 1人1日あたり3000kg
- 委託部門 燃費の向上

EA21事務局の内部監査結果

作成：2023/10/10

NO.	期間	内容	実施時期
	2022.10~2023.9		
1	環境負荷のチェック	自己チェック表の作成	毎月、半期、年度末
2	環境経営方針のチェック	計画表実施結果作成	毎月
3	環境経営レポート	レポートの作成	年度末
4	環境コミュニケーション	教育アンケート計画の実施	計画月
5	内部監査	各部門の監査実施	抜き打ち

作成者：藤澤

[目次!A1](#)

スコア
A
B+
A
B+
A

9-1. 環境経営目標の実績 こづか株式会社

1. 取扱量の増加

◆ 取扱量（古紙、缶・ペット・ビン、古布の再資源化量）					
評価項目	評価基準数値 (2020年度)	2022年度実績値	2022年度目標値 (+100t)	基準年度比	評価
取扱量	30,213t	26,866t	30,313t	△3347t	×

以下の表の”◆”は、取扱量原単位を示します。

2. CO2排出量の削減

◆ 購入電力使用量（CO2排出係数は、富士事業所のみ東京電力(株):0.442、他は日本テクノ(株):0.501）					
評価項目	評価基準数値 (2020年度)	2022年度実績値	2022年度目標値(-2%)	基準年度比	評価
購入電力	13.1kWh/t	13.1kWh/t	12.8kWh/t	0%	△

◆ CO2排出量					
評価項目	評価基準数値 (2020年度)	2022年度実績値	2022年度目標値(-2%)	基準年度比	評価
購入電力起因 CO2排出量	6.5kg-CO2/t	6.5kg-CO2/t	6.4kg-CO2/t	0%	△
こづか(株)の CO2総排出量	記録のみ	176t-CO2	-	-	-
グループ全体の CO2総排出量	記録のみ	1,031t-CO2	-	-	-

3. 水使用量の削減

◆ 水使用量					
評価項目	評価基準数値 (2020年度)	2022年度実績値	2022年度目標値(-2%)	基準年度比	評価
水使用量	0.102m3/t	0.051m3/t	0.100m3/t	△50%	○

4. 自社廃棄物の削減

自社廃棄物排出量					
評価項目	評価基準数値 (2020年度)	2022年度実績値	2022年度目標値(-2%)	基準年度比	評価
自社廃棄物	85.3t	56.2t	83.6t	△34.1%	○

5. プラスチック再資源化の推進

2022年度目標	事業化準備
実績	60t

参考: 事業規模の推移

活動規模	単位	2022年	2021年	2020年	2019年
取扱量	t	26,866	29,059	30,213	30,214
売上高	百万円	800	760	700	305
従業員	人	46	47	35	28
床面積	m ²	6,288	6,288	6,288	6,288

9-2. 環境経営目標の実績 有限会社大興資源

1. 取扱量の増加

◆ 取扱量(一般廃棄物・産業廃棄物・再生資源の収集運搬量)					
評価項目	評価基準数値 (2020年度)	2022年度実績値	2022年度目標値 (+100t)	基準年度比	評価
取扱量	28,123t	9,733t	28,223t	△18,380t	×

以下の表の”◆”は、取扱量原単位を示します。

※集団回収部門が新会社として独立になったため、取り扱量が減少になった原因となります。

2. CO2排出量の削減

◆化石燃料使用量(ガソリン、軽油)					
評価項目	評価基準数値 (2020年度)	2022年度実績値	2022年度目標値(-2%)	基準年度比	評価
化石燃料	14.9L/t	34.2L/t	14.6L/t	+129%	×

2021

◆CO2排出量					
評価項目	評価基準数値 (2020年度)	2022年度実績値	2022年度目標値(-2%)	基準年度比	評価
化石燃料起因 CO2排出量	38.3kg-CO2/t	87.9kg-CO2/t	37.5kg-CO2/t	+129%	×
(有)大興資源 CO2排出量	記録のみ	855t-CO2	-	-	-

3. 自社廃棄物の削減

自社廃棄物排出量					
評価項目	評価基準数値 (2020年度)	2022年度実績値	2022年度目標値(-2%)	基準年度比	評価
自社廃棄物	85.3t	56.2t	83.6t	△34.1%	○

5. プラスチック再資源化の推進

2021年度目標	事業化準備
実績	60t

参考:事業規模の推移

活動規模	単位	2022年	2021年	2020年	2019年
一般廃棄物・再生 資源収集運搬量	t	6,400	23,490	24,290	27,660
産廃収集運搬量	t	3,333	3,441	3,833	2,076
産廃中間処分 処理量	t	12	24	0	238
売上高	百万円	920	969	968	1,077
従業員	人	89	145	140	135
床面積	m ²	6,288	6,288	6,288	6,288

10. 環境経営計画・取組およびその評価

● 取扱量の増加

環境経営計画および取組内容	責任者	実施者	適用される手順またはすべき取り組み	評価	次年度の計画
営業会議・ドライバー会議の実施(GR)	総務部	営業社員	営業会議の役員参加	○	継続
ブランド力強化(イベント等への参加)(GR)	総務部	総務部	地域のイベントに参加(都筑区民まつり)	○	
収集ルートの見直し(TA)	業務部	業務部	採算ルートの整理	○	
セールスドライバーの育成(TA)	営業・業務部	業務部	マニュアル化、ルール作り	○	
ドライバー一人当たりの重量目標の達成(TA)	総務部	総務部	回収量実績の確認	○	

● CO₂(電力、化石燃料)の削減

環境経営計画および取組内容	責任者	実施者	適用される手順またはすべき取り組み	評価	次年度の計画
◆ CO ₂ (電気使用量、化石燃料)の削減					
エコドライブ・車両管理(TA)	業務部	ドライバー・営業	ドライバーマニュアル、考課表による技能評価、社内講習会	○	継続
エアコン温度設定(GR)	部門責任者	全従業者	社内掲示、温度設定は冷房時27℃、暖房時20℃に設定	○	
作業効率化(GR)	業務部	全従業者	業務会議による配車見直し	○	
スイッチ・エレベータの適正管理(GR)	総務部	全従業者	スイッチの配置図作成、掲示、消灯点検	○	

● 水使用量の削減

環境経営計画および取組内容	責任者	実施者	適用される手順またはすべき取り組み	評価	次年度の計画
◆ 水使用量の削減					
余分な開放がないかのチェック(GR)	EA21事務局	全従業者	環境への負荷の自己チェック毎月実施	○	継続
雨水の有効利用の検討(GR)	役員	役員	トイレ洗浄水の雨水利用、洗車・清掃への利用の検討	○	

● 自社廃棄物の削減

環境経営計画および取組内容	責任者	実施者	適用される手順またはすべき取り組み	評価	次年度の計画
スキャナー・両面印刷の励行(GR)	部門責任者	全従業者	会議資料の両面印刷による紙使用量削減	○	継続
社内HPおよび社内メール利用による紙利用の削減(GR)	部門責任者	全従業者	朝礼などで呼びかけ・教育内容に盛り込む	○	
プロジェクターやモニターの活用	部門責任者	全従業者	会議等での使用。資料削減	○	

11. 環境経営目標に対する取組の評価

◆2022年度評価

こづか株式会社

今年度は、横浜北事業所の省エネタイプ梱包ペーラーを導入したことをきっかけに電気使用量と水使用量を削減することができました。しかし、昨今の古紙減少の煽りと近くに大きな古紙問屋が出来たことにより、取扱量が減ったため、トン当たり電気使用量に大きな変化がありませんでした。また、取扱量が減少したことに比例し自社で出した廃棄物量も減少されました。今後は、昨年度に未取得になった新プラ法の再資源化許可を取得し、取扱量を増やしていきたいと考えています。

有限会社大興資源

大興資源として集団回収部門を独立させたことにより大きく取扱量が減少したと共にランニングコストも減りました。しかし、取扱量の減少が大きいため、トン当たり化石燃料使用量が大きく目標未達となりました。今後は、産業廃棄物委託処理事業を大きく躍進する計画もありますので、取扱量を大きくしたいと考えています。

総評

この1年は、古紙発生量が大きく減少して、他業者でも取扱量が減っているのが現状であり、世間のペーパーレス化により今後も減少予定にあります。その中、新プラ法施行に要因で大興資源とこづか株式会社に脱炭素を行うビジネススキームを各企業様より相談されることが多くなりました。プラ業界において、再資源化する部分において大きな課題はいくつかありますが、許可の取得を期に古紙と共に取扱量を増やし環境コストを抑えて再資源化業者として環境経営を行いたいと思います。

こづかグループ 2023年度以降の中長期環境経営目標

年度		2020年度実績（基準年）		2023	
環境経営目標		こづか(株)	(有)大興資源	こづか(株)	(有)大興資源
取扱量の増加(t)		26,666	6,400	+200	+200
CO2排出量の削減	購入電力 (kWh/t)	13.1		-3%	
	CO2 (購入電力 (kg-CO2/t))	6.5		-3%	
	化石燃料 (L/t)		14.9		-3%
	CO2 (化石燃料 (kg-CO2/t))		38.3		-3%
水使用量の削減(m3/t)		0.102		-3%	
自社廃棄物の削減(t)		85.3		-3%	
プラスチック再資源化の推進		2021年度に目標を設定		2023年度事業化準備	

1. CO2排出量（購入電力、化石燃料）、および水使用量は各事業体の取扱量原単位とする。廃棄物は絶対値とする。
2. 2020年度実績値を基準値とするが取扱量は2022年度実績値とする
3. 2023年度は今中期計画の最終年度に当たり、2024年度以降の中期目標は次年度末に策定する
4. 化学物質は使用していないので目標とはしない。
5. 自社廃棄物は事業系一般廃棄物を示す。
6. 購入電力のCO2排出係数：2019年度調整後排出係数（富士事業所のみ東京電力(株)：0.442、他は日本テクノ(株)：0.501)

12-1. 教育・訓練の計画・実施 こづか株式会社

1. 教育内容

各部門では毎朝の朝礼を実施、K.Y.T(危険予知トレーニング)を実施。

古紙梱包ベアラーなど10年以上使用している機械の老朽化による故障火災を防ぐため、各事業所の所長が機械のチェックをし、作業員に講習・報告会を毎月実施。

火災や地震などの災害時、工場内で人が通る動線を確保するため、荷物に合わせたラインを引き、置き場の整理を実施。毎年3月・9月には部門別に消防訓練を行い、実際の火災を想定して緊急事態対応規定の実用性を確認する。

毎月の定例会議では、環境管理責任者より、エコアクション21の活動内容について、環境目標の確認、必要な活動計画などを教育している。

2. 教育・訓練計画

内容	対象	2022			2023									
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
環境に関する教育	横浜エリア 現場作業員													
機械に関する教育	横浜エリア・ 静岡エリア													
緊急事態への 対応訓練	横浜エリア・ 静岡エリア													

3. 緊急事態への対応

半期に1度工場における防災訓練やリスクアセスメントを実施。

毎月の現場会議において、環境負荷低減や省資源などの教育活動を議題に取り入れ、作業員の意識を高めた。

(1) リスクアセスメントの内容

- ・紐取り作業の安全研修
- ・コンベア使用時の安全確認
- ・老朽化した機械の安全確認、
- ・管理等の徹底



(2) 消火器の点検

- ・年に2回、消火器・消火栓の場所の認識テスト結果（3月・9月に実施）
消火器：85%、消火栓：88%

(3) その他

- ・消防署点検において在庫管理見直し、指摘の通り横浜北事業所の消火器を一本交換しました
- ・防災訓練はこづかグループとして(有)大興資源と共同で9月8日に行いました。

12-2. 教育・訓練の計画・実施 有限会社大興資源

1.教育内容

- ・年一度、全従業員を対象とし環境に関する教育を行い、教育受講アンケートを回収し次回の教育内容への参考とする。
今回のアンケート内容は以下の通り
 - *「紙コップリサイクル、根付くか「廃棄物」から意識変革へ」研修内容について感じたこと
 - *エコアクション21につながる活動としてアイデアの募集
 - *こづかグループでの取り組み

2.教育・訓練計画

内容	対象	2022			2023									
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
環境に関する教育	横浜エリア・静岡エリア													
緊急事態への対応訓練	横浜エリア・静岡エリア													

3. 緊急事態への対応

(1) 防災訓練

今年3月に本社全フロアの消火器配置図を全事務員に周知しました。

9/8(金)に消火器を使って防災訓練を行いました。

今期はこづかグループとして「日南防災」の指導の下、実際に消火器を使用しての消火訓練を行いました。

- ・各避難経路の確認と消火栓の設置場所の確認を行いました。
- ・社内緊急時一時避難場所の確認→全従業員で事業所、営業所内を確認してまわった。
- ・昨年は事務所棟側の屋上にて消火器の使用方法を訓練しました、今年は1Fの作業現場で消火器訓練を実施しました。
→消火器の使用法と声掛けの必要性を再確認した。



<反省>

火災警報器が不具合が起こし、突然の警報音が鳴らされました。

・原因調査の結果

感知器の内部に水が入ったり、感知器内部が結露することでも誤作動

・対処法としては

一部の煙感知器を「防雨型」に交換しました。その後様子を確認します。

(湿度が高い場所、湯気や水滴が直接かかるような場所には煙感知器は設置しないのが原則です)

(2) 安全運転講習会

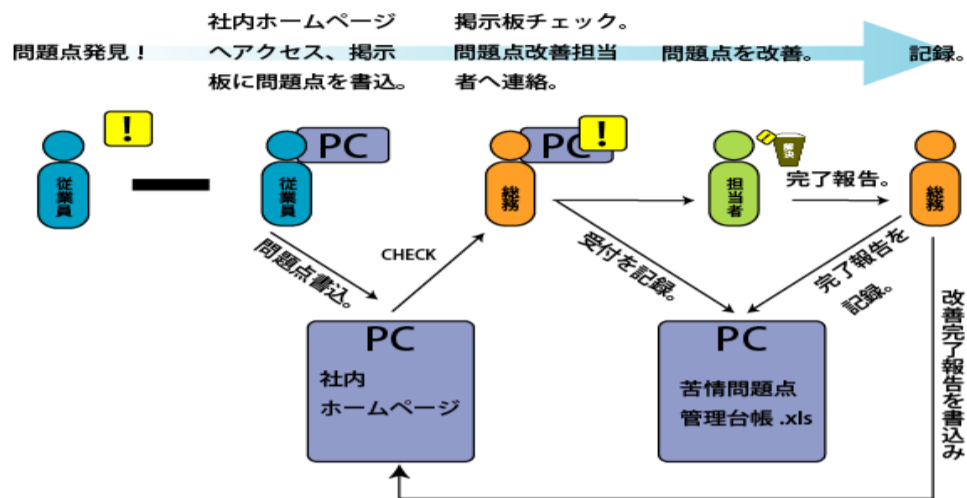
- ・講義形式で危険予知について学んだ。
- ・危険要因の予測と回避
- ・バック中に起きる事故が増えているため、後方確認のための必要動作。
- ・注意しなければならないポイントについて実際に起こり得る状況に照らし合わせながら学んだ。
- ・改めて一人ひとりが自覚をもって基本に忠実に行動することの必要性を再認識した。

13. 環境コミュニケーション

1. 内部コミュニケーションの手段

- ① 社内ホームページの情報共有・活用
- ② Googleカレンダーでスケジュール共有
- ③ LINEでチャット連絡

社内ホームページ活用イメージ



2. 外部コミュニケーションの手段

・ 都筑祭り

本年度は、昨年度に続き縮小をして行われました。



今回はアルミ付き紙パックを再生利用するために回収していることを宣伝しました。多くの方にアルミ付き紙パックの出し方と分類について聞かれました。多くの方が資源の再生利用の興味を持たれた。

14-1. 環境関連法規のとりまとめと遵守評価

法規等の最新版確認日：2023年9月1日

法規等の名称	規制概要	該当する条項等	規制詳細	規制の適用	適用事業者		遵守評価	
					こづか(株)	(有)大興資源	2023年3月	2023年9月
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物処理	第7条 第14条 第15条 第12条	排出事業者責任 契約書の締結 マニフェストの発行 施設の管理	廃棄物排出時 業務受注時 収集運搬時 中間処分場運営		○	○	○
各事業所所在地の廃棄物に関わる条例 一廃：横浜市、静岡市、富士市 産廃：神奈川県、静岡県	廃棄物処理		排出事業者責任 適正な処理	廃棄物排出時		○	○	○
許可取得の各行政条例 一廃：東京の一部、横浜市、川崎市、厚木市 産廃：東京都、神奈川県、静岡県、埼玉県、山梨県、千葉県、茨城県、群馬県、栃木県	各焼却施設への搬入 廃棄物の引き取り		不適合物の搬入 不適合物の収集	焼却施設搬入時 廃棄物の収集時		○	○	○
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	処理業者による不適正な処理の防止		産業廃棄物の処理状況の報告等	中間処理		○	○	○
神奈川県生活環境の保全等に関する条例	公害の防止 環境負荷の低減			事業全般	○	○	○	○
横浜市生活環境の保全等に関する条例	公害の防止 環境負荷の低減			事業全般	○	○	○	○
PCリサイクル法、家電リサイクル法、小型家電リサイクル法	特定家庭用機器、小型家電、PCのリサイクル		適正なりサイクル	業務受注時 廃棄時	○	○	○	○
道路交通法	道路の危険防止 交通の安全		道路の交通方法 運転免許 運転者の義務	道路通行時		○	○	○
自動車NOx・PM法	ディーゼル自動車への規制	第4条 第12条 第17条	基準値の遵守	車両購入時 車検時		○	○	○
貨物自動車運送事業法	輸送の安全確保 事業の健全な発達			廃棄物収集運搬		○	○	○
消防法	指定可燃物の保管	条例別表7	ぼろ、紙くずの保管量	商品の保管時	○		○	○
フロン排出抑制法	業務用機器の冷媒適正管理(使用時漏洩の削減)	第16条	簡易点検、定期点検、充填時の漏えい量報告、適正廃棄報告	事業所のエアコン	○		○	○
浄化槽法	清掃・保守点検 水質検査 定期検査	第5条 第8～10条 第11条	定期点検、清掃、法定検査	富士営業所 WC	○		○	○

14-2. 環境関連法規遵守と訴訟・苦情等有無の来歴

[目次!A1](#)

起こりえる違反事項	訴訟・違反の有無					
	2021年3月	2021年9月	2022年3月	2022年9月	2023年3月	2023年9月
○環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反の有無	無	無	無	無	無	無
○関係機関からの指摘	無	無	無	無	無	無
○訴訟の有無	無	無	無	無	無	無

環境に関する外部からの苦情など	苦情の有無					
	2021年3月	2021年9月	2022年3月	2022年9月	2023年3月	2023年9月
○環境に関する外部からの苦情	無	無	無	無	無	無

15-1. 代表者による全体の評価と見直し こづか株式会社

見直し実施日	2023年12月10日	見直し者	代表取締役 小塚 豪
収集した資料	① 2022年度環境経営レポート（案）		
評価内容	① 環境経営目標 ② 取り巻く環境の変化 ③ 環境経営計画・取り組み	④ エコアクションの審査結果 ⑤ 前回の指示事項の対応状況	
総評	<p>今期は、燃料費や光熱費の高騰や、古紙の発生量の減少やリサイクルペットボトルの販売価格の低下などが利益減少の原因となりました。</p> <p>昨年より、今期の予想は立っていたので、横浜北事業所の梱包機を省エネタイプに変更して、光熱費を通常の3分の2に抑える事が出来ました。</p> <p>今後は、環境ビジネスが大きく変化する中、昨年度は取得が出来なかった新プラ法の再資源化許可を再度取得しよう考えおり、古紙の発生量の減少を少しでもリカバーできるような経営体制を考えております。</p>		
変更の必要性の判断	環境経営方針	<input type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 不必要
	環境経営目標	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input type="checkbox"/> 不必要
	実施体制、その他	<input type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 不必要
環境管理責任者への指示事項 ■重機の省電力化の検討 ■周辺の環境活動への参加			

15-2. 代表者による全体の評価と見直し 有限会社大興資源

[目次!A1](#)

見直し実施日	2023年12月10日	見直し者	代表取締役	猪又富美男
収集した資料	① 2022年度環境経営レポート（案）			
評価内容	① 環境経営目標 ② 取り巻く環境の変化 ③ 環境経営計画・取り組み	④ エコアクションの審査結果 ⑤ 前回の指示事項の対応状況		
総評	<p>今期は、もともと部門であった集団回収が大興リサイクルという新会社で独立して大興資源としての取扱量も燃料費も減っています。</p> <p>トラック1台あたりのコストは、昨年度、旧車を何台かを入替えることで昨年度より抑えることが出来ましたが、昨年の賃金高騰や社会問題になっているドライバー不足（募集費の増額）が起因して、回収しなければならないトラックの1台のコストに変化は見られませんでした。</p> <p>来期は、こづか株式会社が新プラ法の許可を取得することにより、脱炭素を掲げる企業に対して新しい再資源化処理スキームを提供することが可能になると見込まれます。</p> <p>そのうえで、取扱量と売上増加を目指しトラック1台あたりのコストを下げようと考えており、まだ残っている旧型トラックの買い替えも出来るよう努めようと思います。</p>			
変更の必要性の判断	環境経営方針	<input type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 不必要	
	環境経営目標	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input type="checkbox"/> 不必要	
	実施体制、その他	<input type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 不必要	
環境管理責任者への指示事項 ■生産性向上と環境負荷の低減の具体的対策 ■市況に合わせた新たな目標の見直し				